

関心が高まってきた。

現状の日本の医学教育が世界標準に適合しない部分は、主に臨床実習を診療参加型にすることや多職種連携、実習期間の短さなどにあるとされている。ところで二〇二〇年四月から適用予定の「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」改正では臨床実習施設認定条件の高度化と診療参加型臨床実習の推奨が盛り込まれている。

このような医療人育成教育の課題を受けて、第十回目の熊本県医療人育成総合会議では、医学・薬学・保健学教育の世界標準化と診療参加型臨床実習について議論を深めたい。

実施日時：令和元年十一月十六日（土）
午後一時三十分から五時まで

実施内容：

司 会 熊本大学大学院生命科学研究部

教授 西谷 陽子氏

熊本大学大学院生命科学研究部

准教授 古川 昇氏

演題及び演者については、選考中です。
(五く六名)

参加募集対象者

医学・医療技術関連の大学や専修学校における教育・運営などの担当者、各医療技術専門家協会の後継者育成担当者、医療・保健行政担当者、一般の希望者

なお、開催後約一月後に熊本日日新聞紙面に内容を掲載する予定です。また、本財団ホームページにも掲載いたします。

令和元年度医学研究会・研修会等への助成を行う

令和元年度は、次の五件の学会、研究会、研修会等に助成が決定しています。

・熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成事業
四月一日～三月三十一日

・本九祭
九月二十八日

・第十九回熊本大学医学部医学科医学教育ワークショップ
十月二十七日

・第二十回熊本エイズセミナー
十一月二十六日

・K'sギネ・パソ塾

八月二十四・二十五日

令和元年度（第二十四回）肥後医育振興会医学研究助成を行う

令和元年度（第二十四回）肥後医育振興会医学研究助成金の公募が例年どおり行われました。

今後、熊本大学大学院生命科学研究部（医学基礎系、医学臨床系、保健学系、薬学系）熊本大学発生活学研究部、熊本

県医師会及び熊本市市民病院から推薦を受け、七名による選考委員会を立ち上げることとしております。

選考委員会による授与候補者の選考後、理事長に推薦し、常任理事会において承認することとなっております。

本年の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部及び医学教育部から七名、熊大病院から七名、同発生活学研究部所から一名、脳梗塞熊本リハビリテーションセンター熊本から一名の計十六名であり、その中から四名を授与候補者として選考する予定です。

なお、受賞者には、それぞれに十五万円を贈呈し、併せて「肥後医育振興会学術奨励賞」という賞を付与し表彰することとなっております。

令和元年度（第二十三回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

令和元年度（第二十三回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成金の公募が例年どおり行われました。

今後、外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の選考に併せて行われる予定です。

本年度は、熊本大学大学院医学教育部から四名、保健学教育部から一名の応募

があり、その中から最高四名を授与候補者として選考する予定です。

なお、受賞者には、それぞれに十五万円を贈呈し、併せて「肥後医育振興会優秀留学生表彰」という賞を付与し表彰することとなっております。

